８月以降の資格確認及び、医療DXに関わる影響実態調査結果

神奈川県保険医協会　医療情報部

調査概要

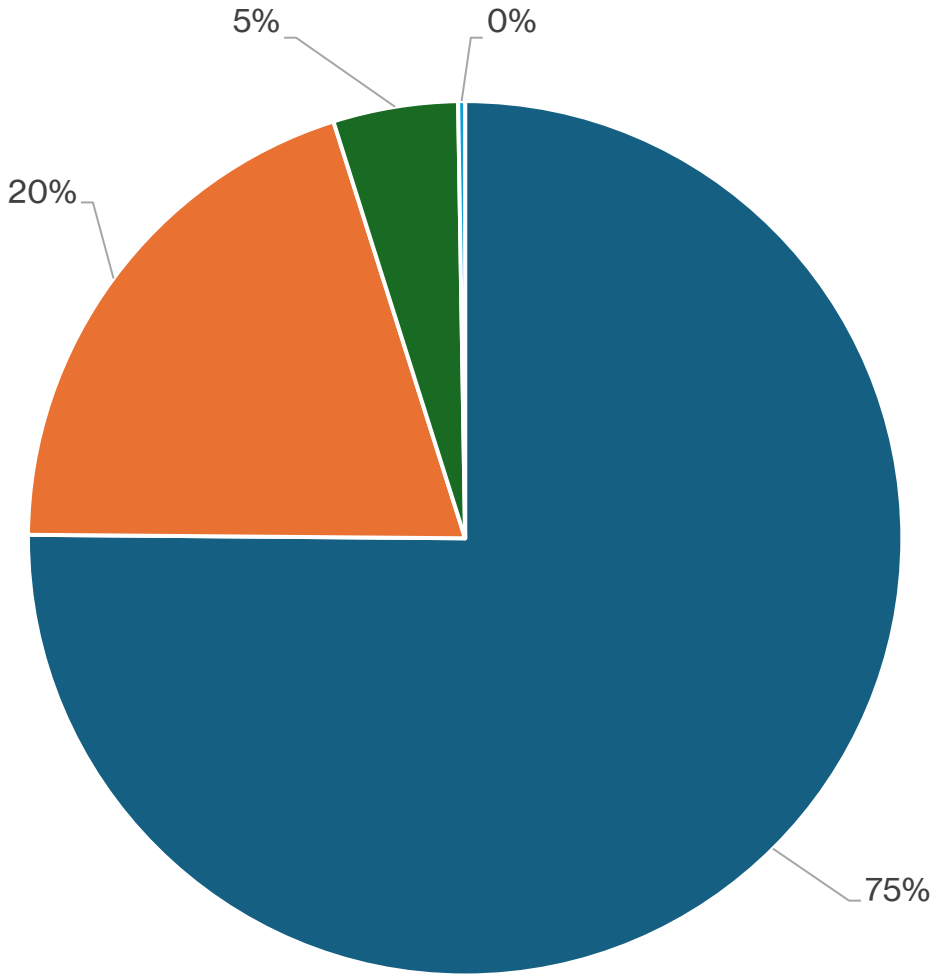
- 調査機関　2026年9月3日～9月30日
- 調査方法　神奈川県保険医協会会員へFAX・メールで調査票を送付
  （5,170件）
- 回収方法　FAXでのみ回答受付
- 回答数　　390件

2026年7月末で健康保険証が使用できる暫定措置も終了したことに伴い、医療機関における8月以降の資格確認及び医療DX推進の影響を把握するため実態調査を実施した。

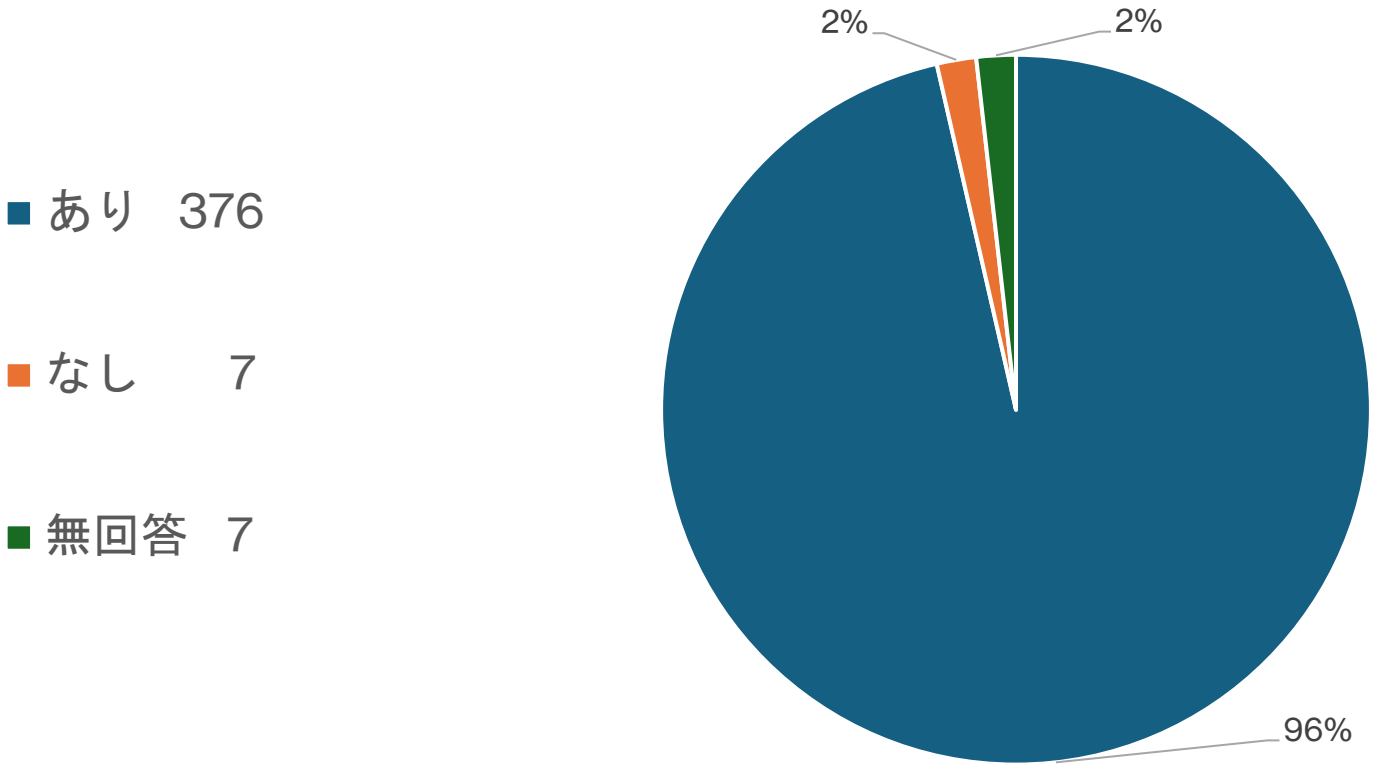
医療機関基本情報　n=390

Q1　医療機関の施設区分

- 医科診療所　293
- 歯科診療所　78
- 病院　18
- 無回答　1



Q2　オンライン資格確認システムの導入



Q3　1日の平均患者数

65人

Q４　マイナ保険証利用率

69.15%

オンライン資格確認の運用状況

Q5　マイナ保険料の読み取り不良や機器、通信などのシステム障害の発生頻度（（ ）は標準偏差）

26年7月以前　　月平均 3.2件（±12.5）

26年8月以降　　月平均 2.7件（ ±12.1）

読み取り不良やシステム障害発生がない（月平均０件）医療機関も多いが、毎日数回発生しているとの回答もあった。

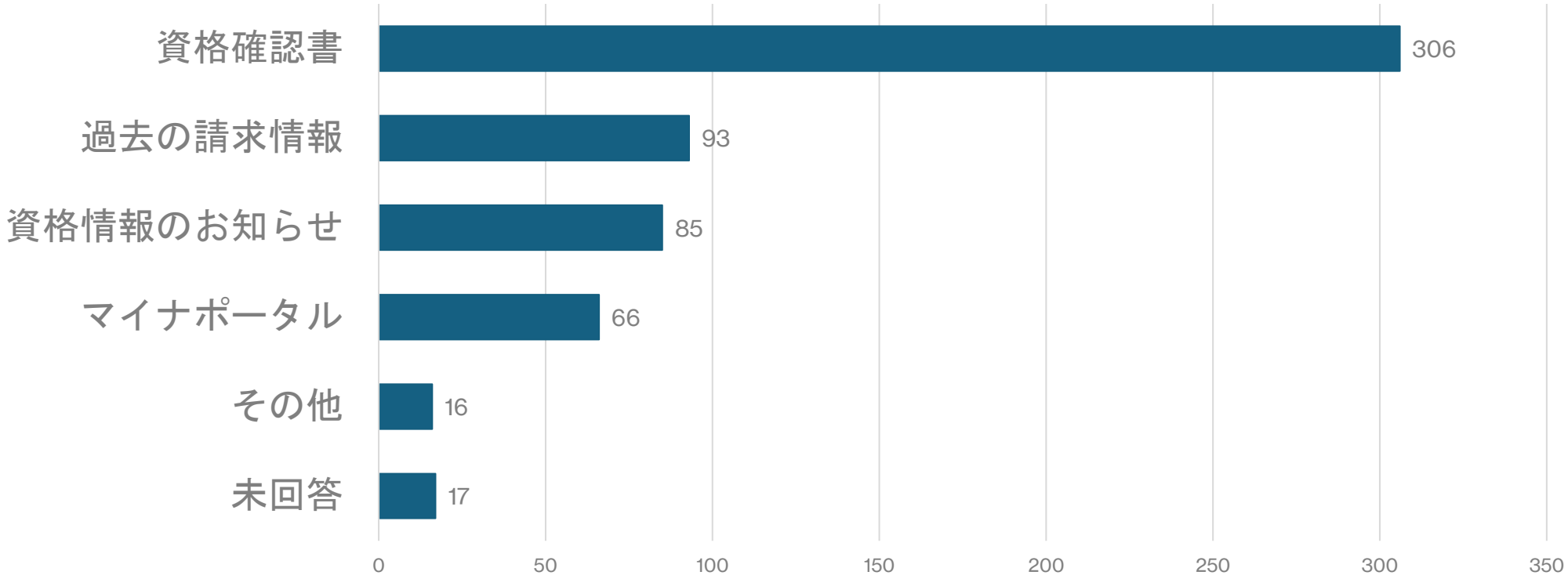
Q6　障害発生時の最大対応時間

平均7.26時間

・回答のなかに解決までに長い場合で1か月を要した案件があった。
・約3割の医療機関が対応に1時間以上かかったことがあると回答している。

保険証廃止による影響

Q7　マイナ保険証の読み取り不良時に、確認作業で最も便利だったものはどれですか（複数回答）

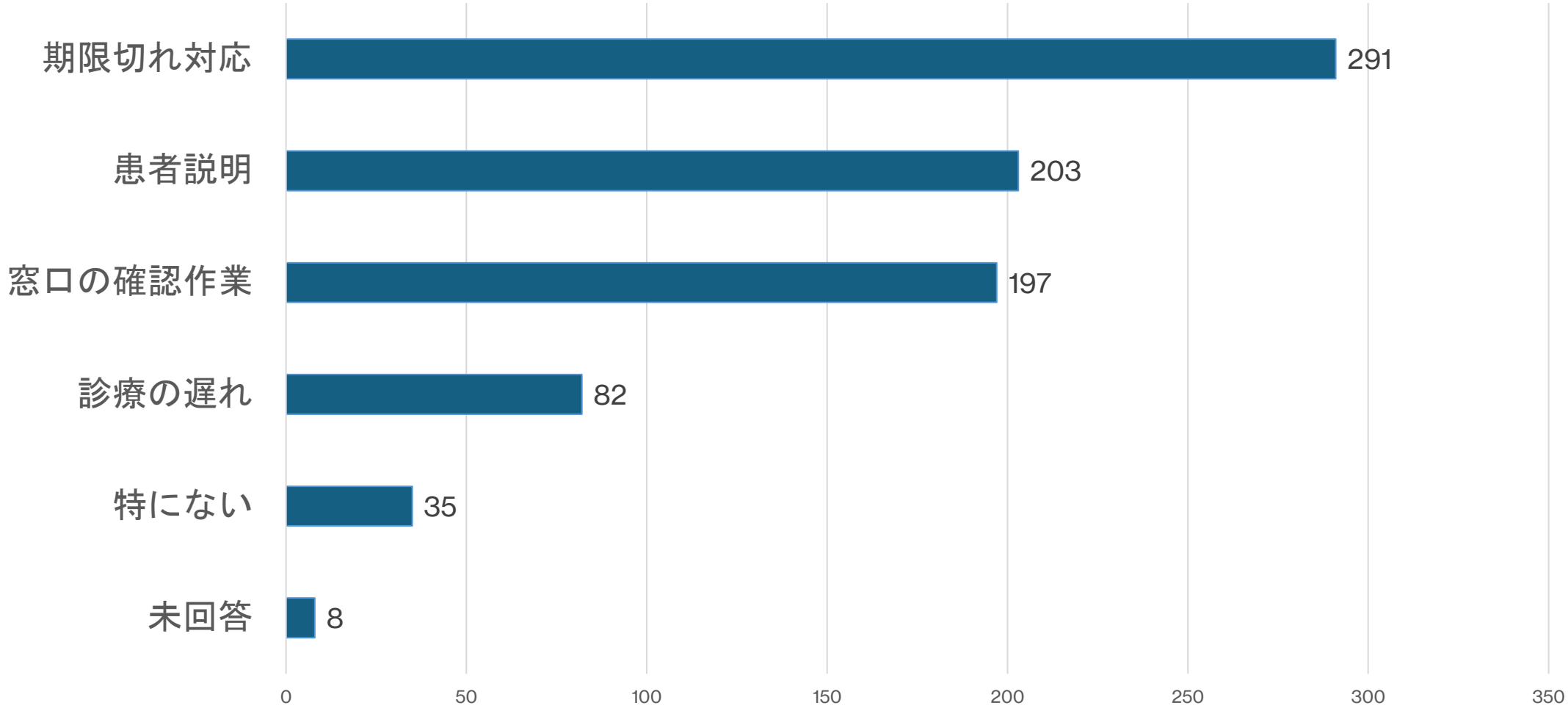


Q7　マイナ保険証の読み取り不良時に、ものはどれですか確認作業で最も便利だったものはどれですか

（その他欄記述）

・むしろ資格確認書がいやだ
・患者さん自身、分かっていないのでマイナ保険証以外何もないです。
・まだ経験はないが、資格確認書が有用。
　高齢者はマイナポータルを表示させることができない。
・市役所に確認の電話
・オンライン資格確認
・保険者に問い合わせ
・ベンダー対応
・10割負担でのちに返金した
等

Q8　マイナ受付対応で、特に感じる負担はありますか当てはまるものをお選びください（複数回答）



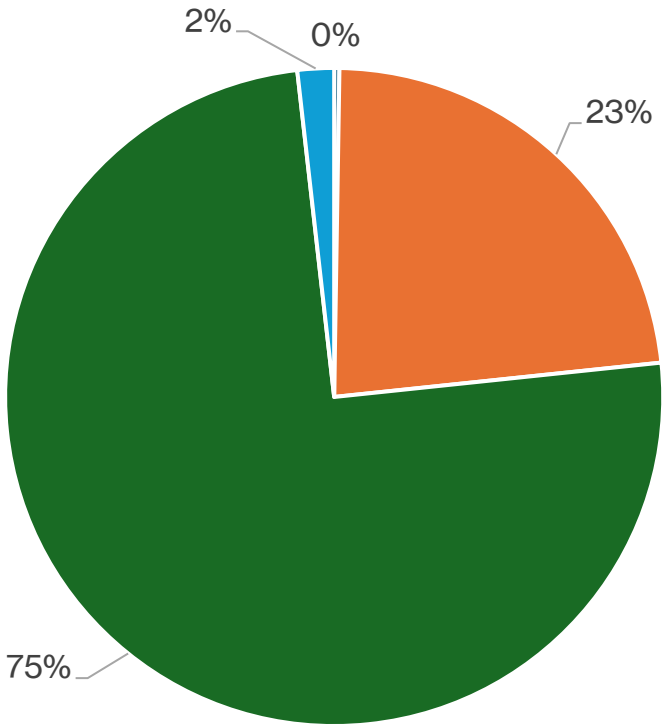
Q9　8月以降、一時的に10割負担してもらう患者が増加したか

■ とても増加した 1

■ 一定増加した　90

■ 増加はない　292

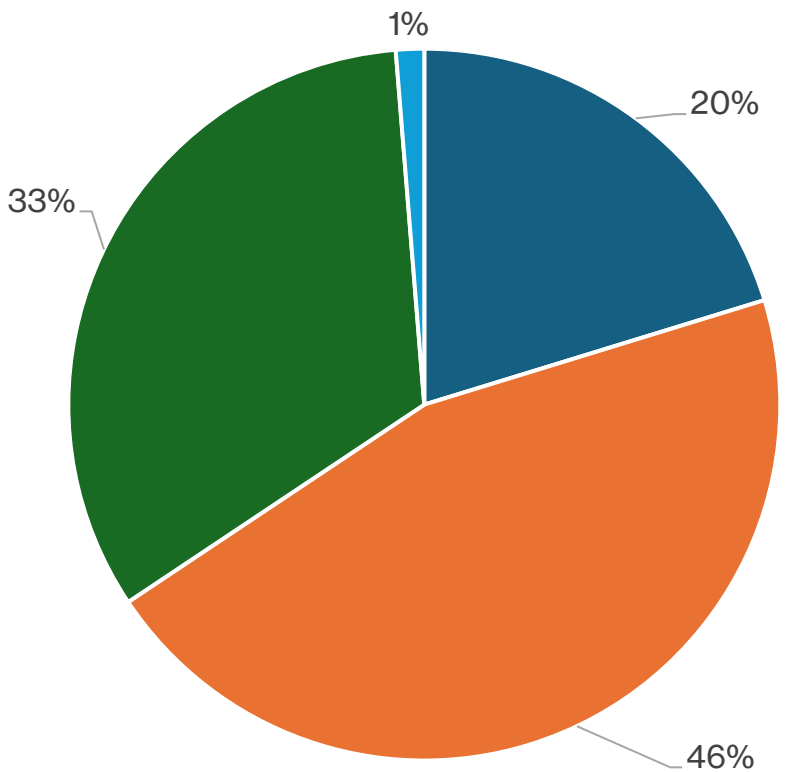
■ 未回答　7



・約2割の医療機関で、従来の健康保険証の使用を認めていた暫定的措置の終了後に一時的に10割負担を求めることになった患者が増加したと回答。

Q10　保険証廃止の影響の大きさ

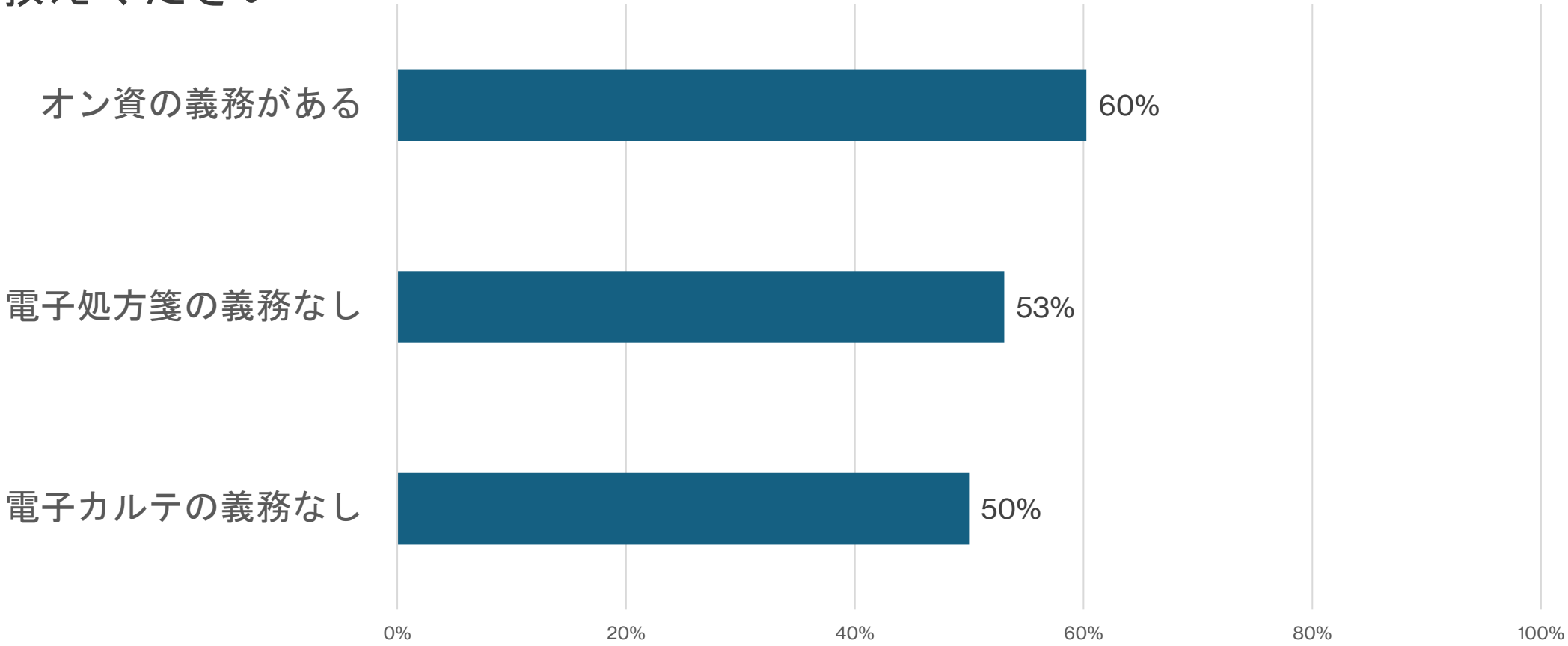
- 非常に大きい　79
- 一定程度ある　177
- あまりない　129
- 未回答　5



・6割以上の医療機関が保険証廃止の影響はあると回答

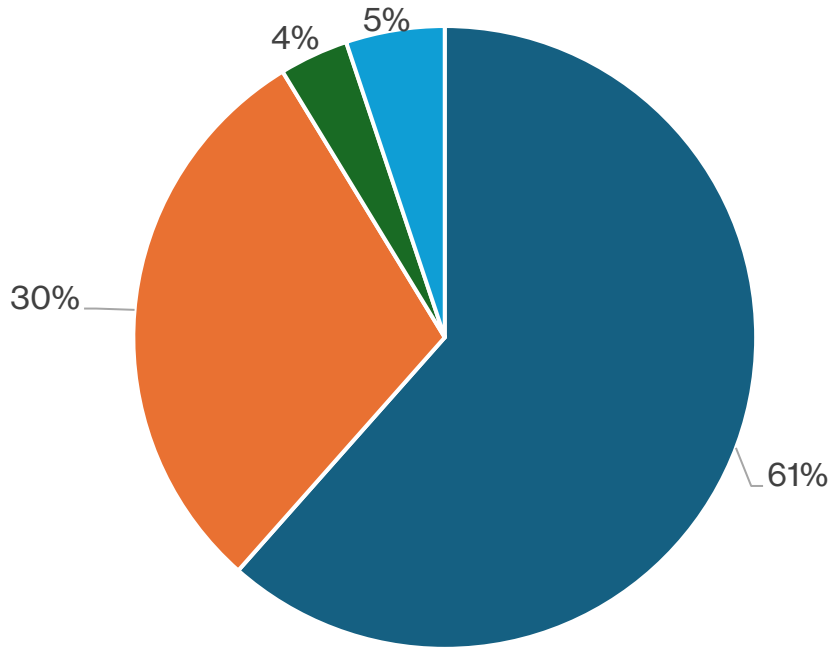
医療DX、サイバーセキュリティ対策の負荷

Q11　医療機関に対する、医療DXの義務について知っていたことをそれぞれお教えください



Q12　サイバーセキュリティ対策への理解度

- 難しい　240
- なんとか対応 116
- 問題なく対応 14
- 未回答　20

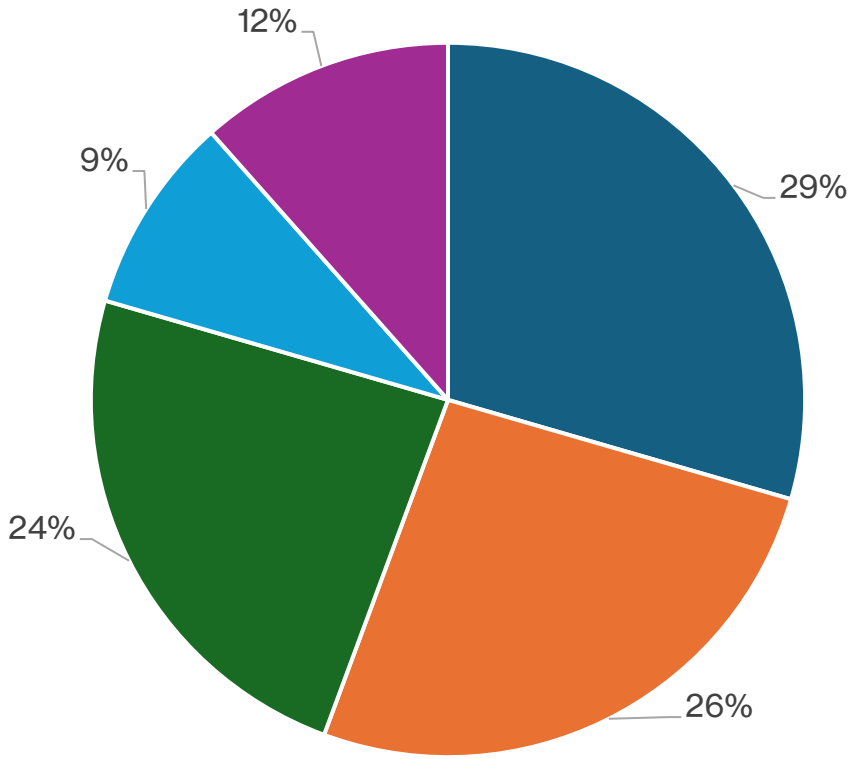


Q13　医療DX対応への年間費用（（）は標準偏差）

平均　79.4万円（±199.2）

Q14　セキュリティ対策が診療所運営に与える負担

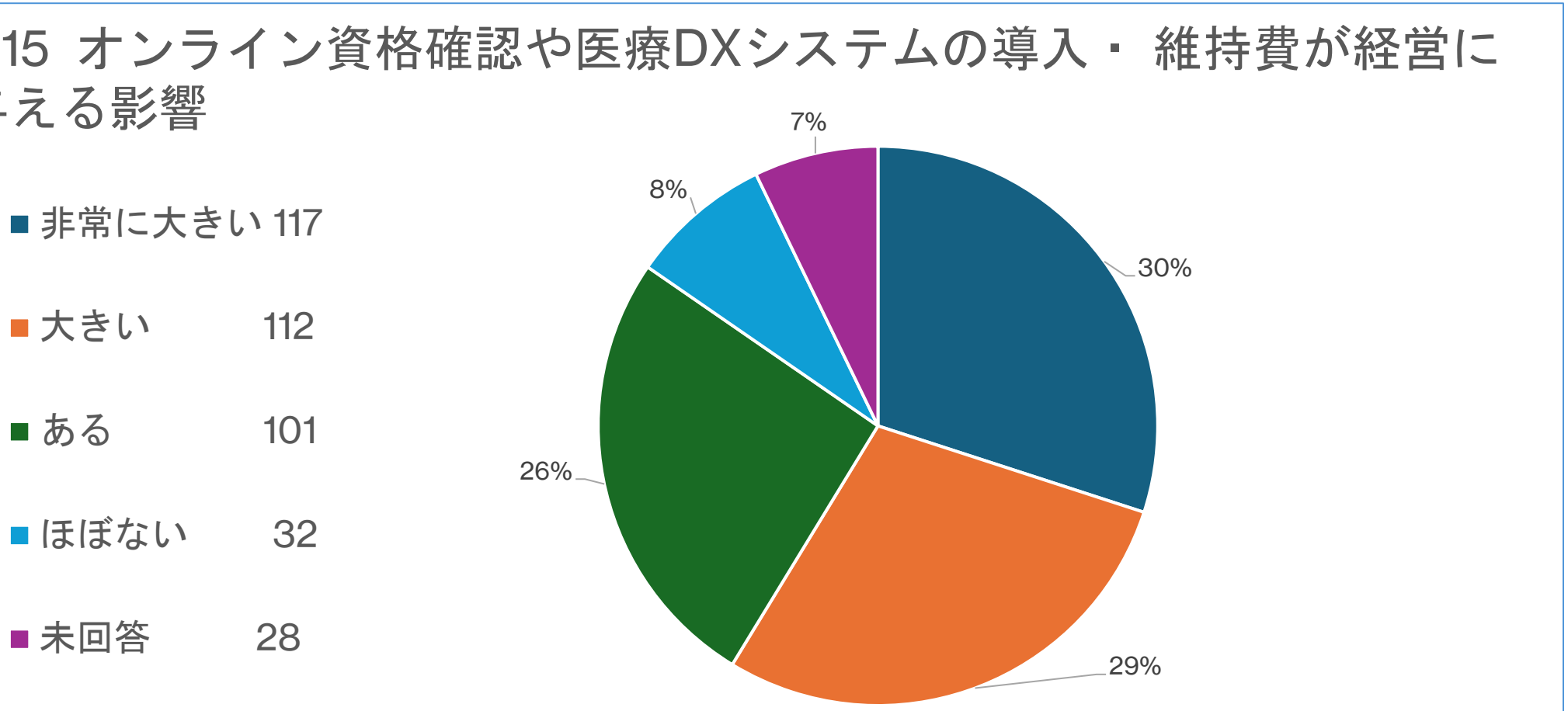
非常に大きい	115
大きい	102
ある	93
ほぼない	35
未回答	45



・約8割の医療機関がセキュリティ対策の負担があると回答

経営への影響

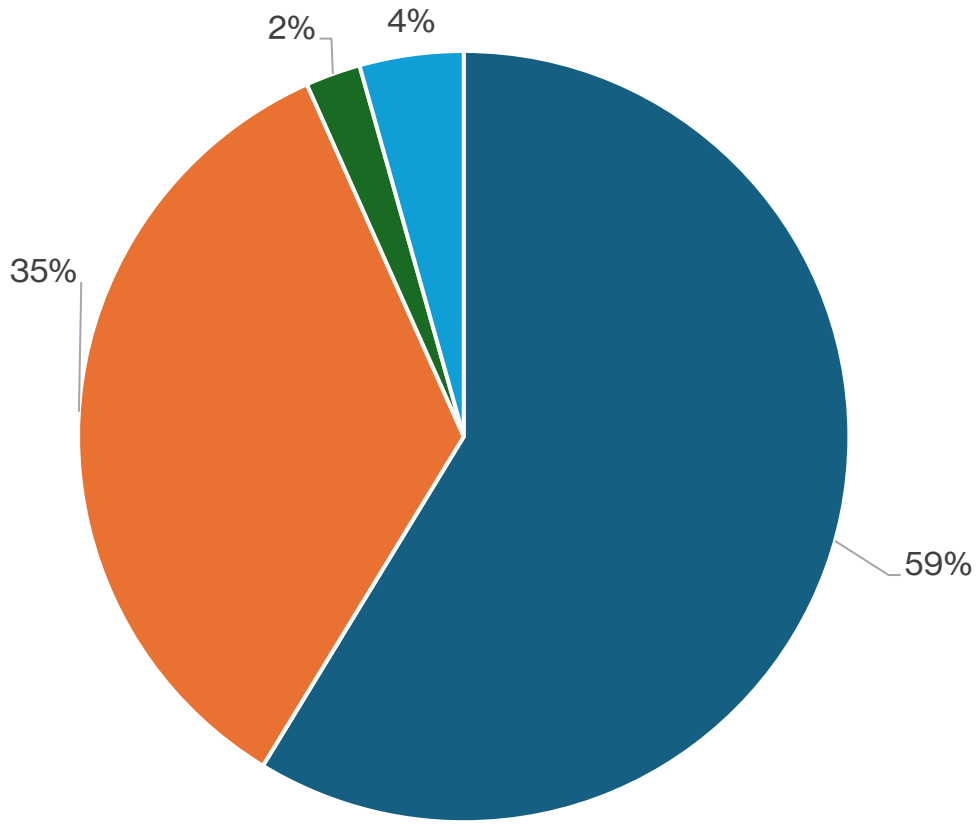
Q15 オンライン資格確認や医療DXシステムの導入・ 維持費が経営に与える影響



・8割以上の医療機関がオンライン資格確認・医療DXシステムの導入維持費が経営に影響を与えると回答

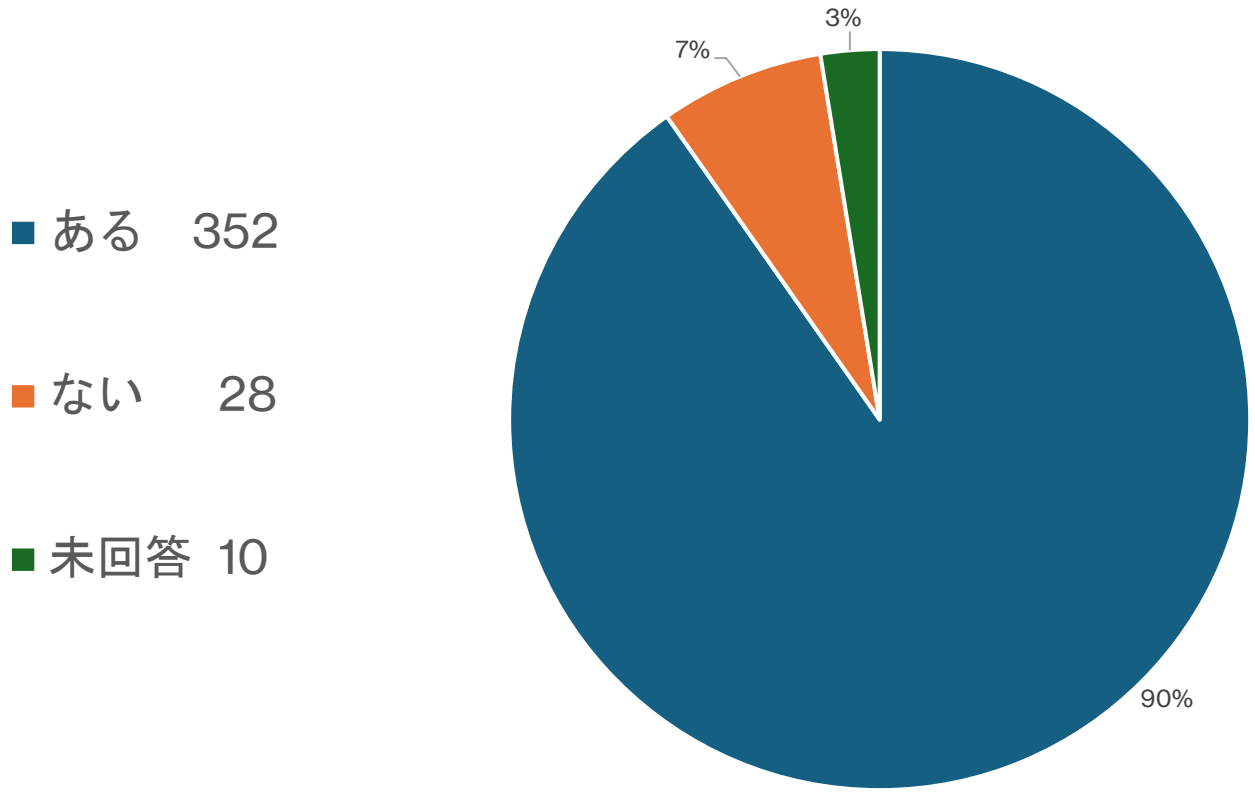
Q16 診療報酬は費用に見合っているか

- 見合っていない 229
- どちらとも言えない 135
- 見合っている 9
- 未回答 17



・約6割の医療機関が診療報酬がオンライン資格確認のシステム維持等に見合っていないと回答

Q17 今後のシステム更新に対する不安



・9割の医療機関が今後のシステム更新が不安であると回答

自由記述欄

- 反対するだけではイミがない。むしろ、しっかりしたDX、マイナ保険証の運用をすすめるようにするのが本筋です。
- マイナンバーの所持を徹底した上で保険証を廃止すればよかったのではと思います。
- 早くマイナ保険証以外の受診を禁止してほしい。
- 入院患者もいらっしゃるので、オン資は導入したが、電子処方箋は外来件数の少ない当院にとって敷居が高い。
- マイナ保険証は不便すぎる。もとにもどしてほしい。
- 保険証の確認より時間がかかる。資格情報を知らない、持っていない人が多い。周知が徹底していないと思います。

自由記述欄

- 来院歴がある患者が久しぶりの来院で保険証しか持っておらず、「以前来てて変わらないんだけど！！」と強く言われ、困ったことがありました。
- 受付が気がつかないうちに、診察券を出さずマイナンバーだけやり、知らん顔して座っている人がいる。マイナンバーをやれば受付OKと思っている。
- 資格確認カードリーダーを読みとるのに機種により横、縦向きが違うのでその時点で患者さん（特に高齢の方）はとまどっている。結果、資格確認書へ移行する人が増えている気がする。
- 受診者もご高齢の方が多いので、マイナカードの電子証明書が期限切れとなっていることが理解できず、窓口での対応の負担が増えている。
- システム障害時には次々来院する患者に対応間に合わず混乱を生じている。

自由記述欄

- オン資導入や、生保対応で、導入金額だけでなく保守料も上がりすごい負担になる。今は最低限、オン資だけだが、導入にこれ程負担がかかるのは納得できない。保険証だけで、十分だったと思う。
- 補助金が最初はほぼ全額戻るが、買い換え時は1/2位しか出ず、結局は統括している国や自治体のみが仕事が楽になるだけで、現場は出費もするし、変化変化と対応が大変なだけで、費用対効果は感じない。
- 急に使用できなくなる、トラブルで業者に対応してもらわないといけない。仕事が増えました。
- オンライン資格確認の機器が頻回に故障します。しかも新しいものに買い換えも、におわせてきているのが不満です。
- 電子処方せんは導入しましたが、ほとんど発行時、トラブルでタイムアウトしてしまいます。国家的サギだと思ってます。

自由記述欄

- 医療DXは政府の強制で拒否権が無いならば無償貸与、ランニングコストも無償であるべき。
- 診療報酬にDX加算10円up付ける程度で済まされない。電カル導入など絶対に阻止すべき。IT業者ばかり儲かる。
- 費用的負担、５年毎にPCの入れ替えなど費用はどうなるのか。開業時よりも医院負担が増えているが点数が上がっていないのが問題。
- 維持費もかかるし、機械の変更もしないといけないなど、国が一方的にやったのに、どうして医院の負担が増えるのか。勘弁してほしい。
- 資格確認はマイナカードで正確に入力される為、窓口業務負担は減少したようです。

自由記述欄

- セキュリティー対策はベンダー任せ、ソフト入替・更新・機器入替等もベンダー任せの現状です。安全性や適正価格なのかは全く分からないです。
- 現在、当院は読み取り機もなくこの先導入予定もありません。紙レセ請求で肩身のせまい思いをしながら閉院のカウントダウンを待ちます。何とか紙保険証が復活してくれるのを望みます。電子化にはこれ以上ついていけません。
- DX化により受付事務作業行程の増加、診療室でのcheck項目の増加、電子処方箋の修正対応など直接の患者対応以外での診療時間が延び、時間当たりの診療患者数が減少、おまたせする時間も長くなった一方当然医療収入も減少。にもかかわらずDX出費は大幅に増加。医療DXは行政側や大規模施設には有効かもしれないが、クリニックレベルでは百害あって一利しかない。

まとめ

- 7月末の健康保険証利用の暫定措置終了後、一定10割負担の患者が増加する等、医療機関・患者への影響が増加した。
- マイナ保険証利用率が約7割となる一方、マイナ保険証を利用した資格確認では半数以上の医療機関が期限切れ対応や患者説明で負担を感じている。
- サイバーセキュリティ対策については約6割の医療機関が理解が難しいと回答。セキュリティ対策の年間費用も平均79万円で医療機関の重い負担となっている。
- 医療DX、サイバーセキュリティ対策への今後の不安は9割が「ある」と回答している。
- 約6割の医療機関が現在の診療報酬が医療DX対応に必要な費用に見合っていないと回答。費用面に関する不安・不満があるとの意見が多く寄せられた。